

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 25日

事業所名 放課後等デイサービスにじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動の場面に合わせて空間を配置している	引き続きより良い支援が行えるよう環境面の工夫を行う
	2	職員の配置数は適切である	○		基準以上の配置をしている	今後も適切な職員配置を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段、段差には滑り止めマットや手すりを設置し事故防止に努めている	引き続き事故が起こらないよう児童に応じて対応していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		普段から職員間で申し送りなどを徹底している	コロナの影響で今年度は会議をひかえたので共有ノートなどを用いて情報共有の徹底を心がけた。コロナが落ち着けば会議を定期的に行っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様からの意見をお聞きして業務の改善につなげている	保護者様からのご意見などを踏まえ改善につなげていく。出来ているが周知されていない事などは、おたよりやSNSなどで周知徹底を行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開している	ホームページをリニューアルしてもっと周知できるよう改善していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今現在、交流や情報交換は行っていない	今後、他事業所との連絡、交流が行えるように他事業所とコミュニケーションをとっていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	現在コロナの影響で研修への参加は控えている	研修に代わる資料の配布や情報共有を行うようにしていく。コロナが落ち着けば積極的に研修に参加し資質の向上につなげる
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している			定期的にあセスメントを行い、個別支援計画に反映している	具体的な課題を分析して個別支援計画に反映していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの特性や家族構成などを細かく聞き出している	今後も定期的に行い職員に周知し支援にあたる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		事前に活動プログラムを子どもと保護者に予告している	より多くの種類のプログラムを立案し活動の幅を広げていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもたちの意見も取り入れつつイベントを考えた	引き続きイベント等毎月変え季節に合わせた催しを行っていく。今後も子どもたちの意見も取り入れつつ新たな活動プログラムを検討・実施していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その時の状況に応じた設定を心がけている	今後も平日は自主性を高めていけるような課題を設定し、休日はクッキングや外出など平日に行えない課題を設定することできめ細やかな支援を行っていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団と個別の課題を支援計画に取り入れ、適宜対応している	引き続き、職員間で個別支援計画の閲覧を心がけ周知していけるようにしていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員間で漏れがないように確認を行っている	外出時などは特に時間をもうけ打ち合わせをしたり担当や役割分担などの徹底を行っている。今後も引き続きしっかりと打ち合わせ等を行っていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		共有ノートやSNSを活用し、出勤していないスタッフにも情報共有ができるよう心掛けている	今後も継続して職員間でお互いのスキルアップに繋がるよう振り返りや、気付いた点を伝えあい情報共有を深めていけるようにする
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		一人ひとり個人ノートを作って支援ごとに記録している	今後も継続して行うとともに、個人ノートの閲覧を徹底して支援の検証・改善につなげ、今以上の支援ができるように心がけていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月ごとにモニタリングを実施して判断している	保護者との懇談を行い、より良い支援が行えるよう計画に反映していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに沿った支援を行っている	新しい職員にはガイドラインをしっかり読んでもらう

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		原則児発管が出席し情報を事業所へ持ち帰る	情報収集を徹底し、得た情報を職員にしっかり周知する
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者との連絡をはかり確認をしている 駐車時は各学校のルールに従い送迎を行っている	今後も継続して行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		基本は保護者との連絡に止めている	必要に応じて連絡体制を図れるよう整備していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	全員ではないが情報共有を働きかけている	今後も積極的に情報共有を働きかけていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在に至るまで該当の児童はいない	今後利用者の卒業の際は積極的に情報の提供を図れるよう体制を作っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	前年度は積極的に研修に参加していたがコロナの影響で今年度は行けていない	コロナが落ち着いたらまた積極的に研修などに参加をし、専門機関との連携や、助言などを受け、さらなる向上につながるようにしていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		プレーパークや公園で障がいのない子どもたちと遊ぶ機会を設けた	児童館はコロナの影響で行けなかったが、それ以外での交流をしたがあまり周知されていなかった。保護者様に伝わりやすいようアプローチの仕方を改善していくようにする
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	人員配置不足になるため参加していない	今後余裕があれば参加していきたいです
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時等や連絡帳などで共通理解に努めている	今後も継続して行う
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要に応じて電話や面談などで相談に乗っている	今後も継続して行う
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている	今後も継続して行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		状況に応じて送迎時や電話などで行っている	今後も継続して行い、必要に応じて面談なども検討していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者交流会を開催したいと思っていたがコロナで実現できなかった	コロナが終息して落ち着いたら保護者交流会の計画を実現させ、保護者様同士の交流、連携につなげていけるようにしたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合は職員から正確な情報を聞き出し迅速に適切な対応に努めている	契約時に苦情窓口の存在は伝えている。何かあった時は迅速に対応できるように今後もしていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを活用して日々の子どもたちの様子を伝えている	今後も継続してこまめに様子を伝えていく。必要に応じておたよりなども検討していく
	35	個人情報に十分注意している	○		個人ファイルは鍵付き書庫で厳重に保管している	今後も継続して行う
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもからの小さなサインを見逃さないように努めている	今後も継続して行い保護者との連携も大切にしていきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベントなどは行われていないが地域の自治会に入っている	イベントなどの開催があれば町内掲示板を定期的に見るなどして積極的に参加していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員には避難場所を周知する研修を行っている	新しい職員や保護者にも周知できるようしていくと同時に、既存の保護者様にも再度周知できるよう対策していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災や地震、津波の避難訓練を行っている	今後も継続して避難訓練を行い災害時に備える
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		資料などを閲覧したり普段から徹底するよう心掛けている	今後も日ごろからの意識付けや定期的な研修会を設けるなどをして虐待防止につなげることを徹底する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在該当する児童はいない	今後そのような児童が利用する場合は子どもや保護者に十分に説明して了解を取り計画に記載するようになる
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者よりの情報が中心	必要に応じて重度のアレルギーの児童には主治医からの情報提供をもらうようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを共有できているようにしている	今後も継続して職員が見やすいところに置きいつでも閲覧しやすいようにし事故防止につなげていく